

国語Ⅲ (J a p a n e s e Ⅲ)		3年・通年・2単位・必修 5学科共通・担当者 勢田 勝 郭
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
〔講義の目的〕 高専での2年間の学習をふまえ、「国語」としての日本語の、読み、聞き、感じ、理解し、考え、話し、書く能力を習得する。また、それらを通じて、日本語、日本人、日本の社会、日本という国家について理解と関心を深めてほしい。		
〔講義の概要〕 高等学校普通科3年生用の教科書を用い、その中から適宜の教材を選んで、読解・鑑賞する。		
〔履修上の留意点〕 1～2年次とは担当教員が変わるので、最初のうちはとまどうことがあるかも知れないが、勢田を信頼して欲しい。2～3週に一度の予定で、補助教材を利用した漢字テストを実施。定期試験は、受験テクニク的な読解問題よりも漢字・語彙等を重視して出題する。		
〔到達目標〕 普通科高校理系進学コースの3年生と同等な国語力を身につけることが目標。具体的には、講義で扱った文章について内容が理解できていること、教材中に出てきた語について意味と読みを知り、書けるようになっていること、この二つが到達目標達成の目安である。		
〔評価方法〕 4回の定期試験（新入生・前期中間・前期末・後期中間・学年末）の成績を70%、授業への取り組み度（漢字テスト、その他の課題提出など）を数値化したものを30%とする。なお、夏休みの読書感想文コンクールへの応募は、必須課題とはしないが、プラスの要素として大きく評価するので、積極的な応募を望む所である。		
〔教科書〕 『新精選現代文2』（明治書院）		
〔補助教材・参考書〕 『カラー版増補三訂 新国語便覧』（第一学習社） 『高校漢字必携』（第一学習社）		
〔関連科目〕 教科の性格上、直接的な関連のある科目は特にあげられないが、国語力は、全ての学習の基礎を形成する能力であることを忘れてはならない。諸君が「思考する」のは、数学でも、物理でも、専門科目でも、ほとんどの場合「国語で」思考しているはずだ。		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	評 論	青木保『異文化理解』	
第2週	同上	同上	
第3週	同上	大森荘蔵『真実の百面相』	
第4週	同上	同上	
第5週	小 説	大岡昇平『俘虜記』	
第6週	同上	同上	
第7週	特別講義	(未定)	
第8週	評 論	大澤真幸『メディアの在り方』	
第9週	同上	同上	
第10週	小 説	小川洋子『博士の愛した数式』	
第11週	同上	同上	
第12週	特別講義	三島由紀夫の生涯と作品	
第13週	小 説	三島由紀夫『美神』	
第14週	同上	同上	
第15週	特別講義	(未定)	
前期期末試験			
第16週	特別講義	日本の近代小説の始まり……坪内逍遙と二葉亭四迷	
第17週	特別講義	森鷗外の生涯と作品	
第18週	小 説	森鷗外『舞姫』	
第19週	同上	同上	
第20週	同上	同上	
第21週	同上	同上	
第22週	特別講義	森鷗外の小説を読む	
第23週	特別講義	(未定)	
第24週	評 論	谷崎潤一郎『陰翳礼賛』	
第25週	特別講義	谷崎潤一郎の小説を読む	
第26週	特別講義	夏目漱石の生涯と作品	
第27週	評 論	夏目漱石『現代日本の開化』	
第28週		同上	
第29週		同上	
第30週	特別講義	(未定)	
学年末試験			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)